

同志社大学

2015年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年 4 月 27 日提出

所 属	職 名	氏 名
生命医科学部医学生命システム学科	助教	角田伸人
研 究 題 目	TSPAN による gamma-secretase 活性変化	
研 究 成 果 の 概 要	<p>アルツハイマー病発症原因のひとつと考えられるアミロイドβタンパク質は、細胞内において gamma-secretase により切断されて産生される。これまでにいくつかの TSPAN が gamma-secretase 活性に影響を及ぼしていることが知られている。ヒトにおいては、33 種類の TSPAN が知られているが、本研究ではこれまでに gamma-secretase 活性への影響について報告されていない TSPAN に着目して、どのような活性変化を及ぼすか in vitro 実験系で検討した。</p> <p>作用が既知な TSPAN と未報告の TSPAN をそれぞれ培養細胞へ一過性に発現させ、培養情勢に分泌される Aβ を生化学的手法で検討した。新規な TSPAN も同様に gamma-secretase に活性変化をおよぼし、Aβ 産生を低下させる可能性を示した。今後は、この TSPANs が gamma-secretase 活性に及ぼす詳細な機構について検討する。</p>	